

令和元年 10 月 29 日
10 時 00 分

国土交通省東北地方整備局
山形河川国道事務所

【防災情報】台風 19 号に伴う防災情報（第 25 報）

山形河川国道事務所では、台風 19 号に伴う降雨により被災した自治体の情報収集及び災害応急対策の支援を行っています。

28 日（月）に福島県西白河郡矢吹町に派遣していましたがリエゾン（災害対策現地情報連絡員）が職務を終え帰還しました。また、本日、被災のあった宮城県伊具郡丸森町に TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）として職員 1 名を派遣しました。

1. 事務所の体制

支援：令和元年 10 月 14 日（月） 12 時 00 分 警戒体制

2. 山形河川国道事務所の支援状況

【自治体支援】

（1）TEC-FORCE（緊急災害対策派遣隊）

①派遣先：宮城県伊具郡丸森町 現地対策本部

派遣人員：職員 1 名

派遣期間：令和元年 10 月 29 日～11 月 2 日（予定）

（2）リエゾン（災害対策現地情報連絡員）

①派遣先：福島県西白河郡矢吹町

派遣人員：職員 1 名

派遣期間：令和元年 10 月 14 日～10 月 28 日（帰還）

②派遣先：福島県庁

派遣人員：職員 1 名

派遣期間：令和元年 10 月 15 日～（未定）

（3）災害対策用機械

①派遣先：福島県伊達郡国見町 福島県北浄化センター（作業終了）

→（移動）宮城県仙台市宮城野区 田子排水機場（作業終了）

→現在は、東北技術事務所（多賀城市内）で待機中

派遣機械：排水ポンプ車（30m³/分）1 台

作業実施者：置賜建設（株）4 名

派遣期間：令和元年 10 月 14 日～（未定）

- ②派遣先：宮城県伊具郡丸森町役場
派遣機械：路面清掃車 1 台
散水車 1 台
作業実施者：日本ロード・メンテナンス（株）山形営業所 3 名
派遣期間：令和元年 10 月 16 日～10 月 18 日（作業終了）
- ③派遣先：福島県岩瀬郡鏡石町
派遣機械：照明車 1 台
作業実施者：置賜建設（株）2 名
→（変更）現地作業員が実施。置賜建設（株）2 名は帰還。
派遣期間：令和元年 10 月 16 日～（未定）
- ④派遣先：宮城県伊具郡丸森町内で使用される予定
派遣機械：Ku-SAT（衛星小型画像伝送装置）
作業実施者：なし（装置のみ被災箇所に運搬）
派遣期間：令和元年 10 月 17 日～（未定）
- ⑤派遣先：宮城県仙台市宮城野区蒲生雨水ポンプ場（作業終了）
→現在は、福島県いわき市林城ポンプ場で待機中
派遣機械：排水ポンプ車（30m³/分）1 台
作業実施者：渋谷建設（株）6 名
派遣期間：令和元年 10 月 18 日～（未定）

【福島河川国道事務所応援】

- ①応援期間：令和元年 10 月 13 日～10 月 14 日（帰還）
応援内容：職員 1 名（災害対応要員増強）
- ②応援期間：令和元年 10 月 15 日～10 月 20 日（帰還）
応援内容：職員 2 名（災害復旧工事監督）
- ③応援期間：令和元年 10 月 16 日～11 月 5 日（予定）
応援内容：職員 1 名（災害対応要員増強）

○山形河川国道事務所管内の情報は、下記の URL からご覧下さい。
<http://www.thr.mlit.go.jp/yamagata/>

○台風 19 号による被害状況、国土交通省の対応は、下記の URL からご覧下さい。
https://www.mlit.go.jp/saigai/saigai_191012.html

〈発表記者会：山形県政記者クラブ〉

問い合わせ先



国土交通省 山形河川国道事務所
山形市成沢西四丁目 3 番 5 5 号
T e l（代表）0 2 3 - 6 8 8 - 8 4 2 1

計画課長 すぎき ひろし
鈴木 浩 （内線 2 6 1）



福島県矢吹町役場におけるリエゾン活動状況
(町長に国土交通省の支援内容を説明)



福島県矢吹町役場におけるリエゾン活動状況
(矢吹町役場担当者・TEC-FORCE・リエゾンの打合せ)

TEC-FORCE

緊急災害対策派遣隊（テックフォース：Technical Emergency Control FORCE）



- ◆ TEC-FORCEは、国土交通省の職員が被災現場に出向き、被災状況調査、災害対応についての技術的助言、災害対策用機械による応急復旧等について支援します。
- ◆ リエゾン（災害対策現地情報連絡員）を通じて、被災した自治体での支援ニーズを把握し、効果的な支援の早期実現へ向けにお役に立つよう動きます。

◆ 被災した自治体等への主な支援メニュー



被災した自治体が管理する施設を調査します。

TEC-FORCE隊員は、被災の規模に応じて全国から隊員を集結し、河川や砂防、道路などの自治体が管理する施設の被災状況を短期間で調査し、報告することができます。



被災現場の進入ルートを確認します。

通行可能なルートを確認するため、道路情報の提供や、国の管理する道路以外でもガレキなどを撤去し、道路啓開（緊急通行車両が移動できるルートを切り啓くこと）や応急復旧を支援します。

災害対策用機械を派遣します。

国土交通省が保有する災害対策用機械を貸与することができます。災害対策用機械は裏面にも掲載してあります。

排水ポンプ車



大雨、洪水、津波などにより生じた滞留水を早期に解消するため、排水ポンプ車で排水することができます。

照明車



被災現場での監視、調査、復旧は、24時間昼夜を問わず行われる場合があります。照明車は、夜間にこれらの活動を安全に行うための灯りを提供します。

衛星画像伝送



災害対策用ヘリコプターや監視カメラ等の被災現場の映像を、衛星通信車や小型衛星画像伝送装置（Ku-sat）により、被災した自治体にリアルタイムで配信することができます。



自治体からの支援ニーズを把握します。

災害が発生又は発生するおそれのある場合には、直ちにリエゾンを派遣し、被災した自治体での情報収集や支援ニーズの把握を積極的に行います。



資材を提供します。

国土交通省が保有する災害復旧用資材を提供します。費用負担を伴いますが、災害復旧事業等の対象になるものは、国の負担で賄うことが可能となります。

※ 上記のメニューは代表的なものを示したものです。



国土交通省 東北地方整備局 災害対策マネジメント室

〒980-8602 仙台市青葉区本町3丁目3番1号 仙台合同庁舎B棟

TEL：022-225-2171（代表） FAX：022-224-9410 HPアドレス <http://www.thr.mlit.go.jp/>

◆国土交通省（東北地方整備局）から提供可能な主な資材類

資材	用途・概要
異形ブロック	根固めブロック など
砕石	道路の補修材 など
大型土のう	土留・仮設材 など
ブルーシート	家屋・施設の養生材 など

※資材の提供は費用負担を伴いますが、災害復旧事業等の対象になるものは、国の負担で賄うことが可能となります。

◆国土交通省（東北地方整備局）から貸与可能な主な災害対策用機械

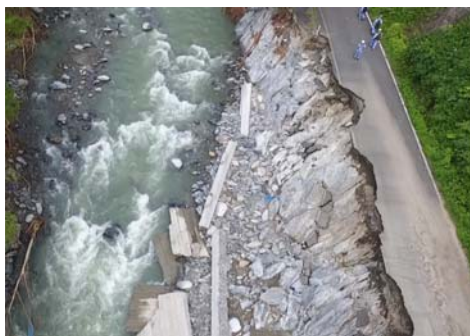
機械・機器	用途・概要	
① 対策本部車	災害現場での現地対策本部として使用	
② 衛星通信車	災害現場での通信網を確保するため使用	
③ 排水ポンプ車	浸水した土地等の排水に使用	
④ 照明車	災害現場等の夜間照明として使用	
⑤ 待機支援車	災害現場での休息等に使用	
⑥ 応急組立橋	早期の交通路確保のための仮橋として使用	
⑦ 遠隔操縦対応型バックホウ	遠隔操作による作業のほか、分解して輸送が可能	
⑧ 小型衛星画像伝送装置（Ku-sat）	通信衛星を利用した動画像伝送	

※引き渡し後の運転に係る燃料、運転手などは、原則、要請者で準備していただく必要があります。

◆TEC-FORCEの活動事例



▲ 被災状況調査



▲ ドローンを活用した被災状況調査



▲ 防災ヘリによる被災状況調査



▲ 自治体への技術的支援



▲ 排水ポンプ車による排水活動



▲ 避難所への照明車設置